

足立健康友の会

かばら支部ニュース

第56号
2013年3月21日
☎: 3605-5594
<http://kabara-tomonokai.kenwa.or.jp/>
mail:kabarashibu@yahoo.co.jp

かばら歩こう会

27名参加

「河津桜とまぐる寿司」満足 吊し雛・城ヶ島・まぐる市場

2月26日(火)にかばら歩こう会の企画で三浦海岸の河津桜を見に行ってきました。伊豆の河津桜は有名ですが三浦海岸はひそかにブームになりつつあります。品川駅で乗り換え時にトイレに行

った人が特急に乗り遅れるハプニングもありましたが無事に三浦海岸駅に総勢27名がそろいました。駅前の桜は4分咲きでピンクの

帰りにここで買った大根が瑞瑞しくて!!です

花が綺麗でした。早速、アリバイづくりの集合写真を撮りました。

駅前広場には地元産直テントが並び桜まつりを盛り上げています。京急線路の三崎口方面に歩いていくと道の両側に桜と菜の花並木が現れました。道の南側が高台になっていて桜も菜の花もチラホラがちよっとガツカリ、どこかで「菜の花をお浸ししたらちょうど食べごろね!」という声が聞こえてきました。



しばらく歩くと高台も切れて日当たりが良くなると菜の花と水仙の花が迎えてくれました。河津さらはというやはり2月が寒い日が続いたので2月初めの予想では見頃のはずでしたが花びらはチラホラでしたが目が花の臭いにさわれ遊びにきていました。



品川から三崎口までの往復キップ+昼の鮭寿司+温泉無料+バスが乗り放題で2980円の「まぐるキップ」を利用してのお得旅。私は初参加でしたが歩こう会ではお馴染みのお寿司屋さん「紀川」

では鮭寿司はもちろん地元野菜サラダロマネスクもおおいしかった。「三浦は土が良いから」とご主人も自慢げ。鮭寿司に満足した午後は、子どもの健康を祈願した吊るし



雛のある喫茶店をみて温泉につかりたい組とまぐる市場へのお買い物組み、そして天気も良いので剣



房総半島の鋸山まではつきり見え、入り組んだ岬の海岸線をバスでのドライブを楽しみました

崎周りで海岸線の景色を楽しみ城ヶ島までのバスの旅組に分かれて楽しみました。それぞれご希望の旅を楽しみ満足して家路へとつきました。

報告 坂井よう子・渡辺政次

「囲碁・将棋」サークル

4月から「将棋」も加えることになりました。また、開催日が変更になります。

第2(火)・第4(火)

午後2:30~5:00

場所: 蒲原診療所食堂

連絡先: 池田(3606-0945)

かばら恒例のお花見会のご案内

とき: 3月31日(日) 12時~

ところ: 東綾瀬公園

(すいすいランド前あたり)

会費: お一人 500円

お願い: お手製の一品料理・お酒の持ち込みは大歓迎です。

(雨天時はかばら診療所3階)

今年には蒲原診療所開設五〇年、

歯科開設三〇年の記念すべき年で
す。三月二四日には、祝賀会が予
定されています。新春の集いの記
念講演も、それにちなんで「蒲原
診療所（歯科）の半世紀をふりか
える」と題して、放射線技師の嶺
岸さんにお話をさせていただきま
した。嶺岸さんは、蒲原診療所が
初代の建物であった頃に入職し、

「蒲原診療所（歯科）の 半世紀をふりかえる」

てお話をしてくれました。

診療所ができる前史として、亀
有無産者診療所の運動や、田んぼ
が一面に広がっていた足立東部地
域の状況などに触れたあと「あま
りにポロポロのため親に絶対に来
るな」と言ったという四ツ木病院
蒲原分院として誕生した当時の建
物や、当時のスタッフなど貴重な
写真を披露。診療所建設やその後
の友の会活動などで重要な役割を
果たした日立亀有工場の労働者の



現在地に昭和46年に建替えた前の蒲原診療所

方や地域の方とのつながりなど、
地域とともに歩んできた診療所の
活動が紹介されました。
歯科の歴史では、歯科往診に早
くから取り組んできたことなどを



紹介、一九九六年に吉田万三先生

が足立区長になった当時の写真な
ども映し出されました。参加され
た方も古くから蒲原の地域や、診
療所をご存知の方が多く、「とても
懐かしかった」との声が聞かれま
した。地域の方々に支えられ、と
も歩んできた診療所であることを
感じました。これからもその初心
を忘れずに、地域医療に貢献でき
たらと思います。

（蒲原診療所医事課・若松弘正）

「放射能汚染から子どもの 健康を守る会」が発足

福島原発の
事故による放
射能汚染が、
自分達が暮ら
している地域
にまで広がり
東電や国が真
実を伝えない
中、小さな子
供をかかえる
親の不安や怒
りがいつまで
たつても治ま
りません。そ
んな地域の皆
さんの不安を
少しでも減ら
したい。安全な地域に戻りたい
という思いで十名足らずの呼びか
け人で始めた測定と活動が地道に
広がり、足立区の綾瀬川と中川に



はさ
まれ
た東
部の
域の
汚染
が特
に高
い事
が、
三百

を越す測定結果と足立区のホーム
ページでも明らかになりました。
私達の測定結果を示して区と粘り
強い話し合いの結果、ようやく昨
年11月に区の職員立ち会いの元
で測定をし、基準を越えた4ヶ所
で除染が行われました。

しかし区は小・中学校・保育園・
公園等の公的施設と公道は除染を
するが民有地は除染しないと
おり、安全な地域は戻りません。
放射能は目に見えない、臭いもし
ない、ごく細かい粉のような物と
考えてください。測定中風が吹け
ばフワツと値が上がります。民有
地の汚染値の高い所がそのまま放
置されれば、いくら公道を除染し
ても内部被曝は確実に小さな子供
の体に蓄積されて行きます。

子供が安心して外で遊べる環境
にしたい。未来も放射能の心配が
ない世の中であってほしい。その
願いを何としても実現するために

沢山の方の目と力が重要です。

2月17日「放射能汚染から子供
の健康を守る会」が発足しました。
広島で被爆して原爆に被爆した
人を診察して原爆の実情を知りつ
くした、医師の肥田俊太郎先生の
講演で、できるなら汚染の心配の
ない地域への避難が有効である。
又、昔ながらの規則正しい生活が
様々なリスクから守ってくれると
いうお話をいただき、近隣の葛飾
区や流山市、三郷市からの活動も
お話しいただきこれからも交流を
深め知恵を出し合いながら協力し
ていきたいと思います。

この会ではただ今会員を募集中
です。（会費三百円です。） 沢山
の方のご連絡をお待ちしています。
連絡先 坂井よう子

原爆を世界から無くするため
67年間、毎月6日と9日に駅で署
名を訴えています。3月6日綾瀬



担当 渡辺政次

駅で足
立原水
協の方
と協同
して
「6・
9行動」
を行い
ました。